取扱説明書番号
M444-ZXXZ

クオーツ
報時付掛時計　取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
本社　〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似代替品や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お問い合わせ先　**■お客様相談室**　**フリーダイヤル 0120-557-005**
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）
お買い上げ製品に関するお問い合わせの際は、時計裏面に表示してある製品番号（型番）をお伝えください。

（Y1112）

おもな製品仕様

常温での時間精度	平均月差　±20秒
使用温度範囲	−10 ～ 50℃ ＊結露しないこと
使用電池	報時用：単1形マンガン乾電池（JIS規格　R20P）　2個
	時計用：単2形マンガン乾電池（JIS規格　R14P）　1個
電池寿命	約1年　音量中位で17回／日　報時した場合
報時機能	毎正時にメロディを1曲奏で、ステージ上の人形が回転する
報時精度	毎正時に対して　±1分
報時音	電子音メロディ　12曲収録
暗所自動鳴り止め	あり　明暗センサーと連動
音量調節	ロータリー式ボリューム
報時ON/OFF	あり
試聴（モニター）	あり

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

単1形マンガン乾電池	2個
単2形マンガン乾電池	1個
木ねじ	1個
保証書	1枚
取扱説明書	本書

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

⚠警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●電池に傷をつけたり、分解したりしない。
●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。
●加熱したり、火の中に入れたりしない。

電池から液もれが起きてしまったときは、素手でさわらない
●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●もれた液に直接触れないでください。
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠注意　傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる
液もれや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

分解したり改造しない
けがや故障の原因になります。

■使用場所について

下記のような場所では使わない
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。
●温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
●温度が＋50℃以上の所。
●温度が−10℃以下の所。
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気を発生させる機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●ガスの発生する所。（プール、温泉場など）
●多くの油を使用する所。（調理場など）
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　**正しく使って事故をなくしましょう**

●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
●種類の異なる電池を混ぜない 。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●幼児の手が届かない所に置く 。
●古い電池と新しい電池を混ぜない。
●時計が動いていても定期的に交換する。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例 . Panasonic オキシライド乾電池）

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池・時計の廃棄

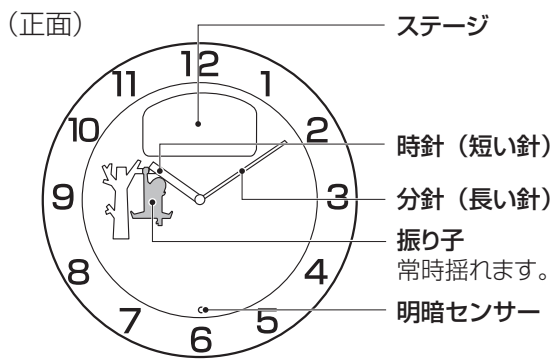
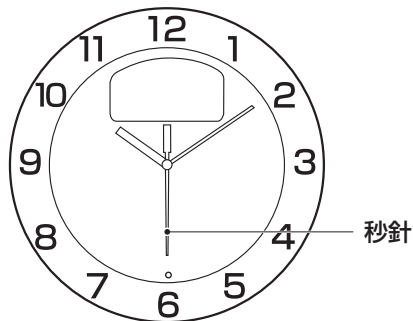
●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
●電池を取り外してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

●図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

〈秒針なし・振り子付きタイプ〉

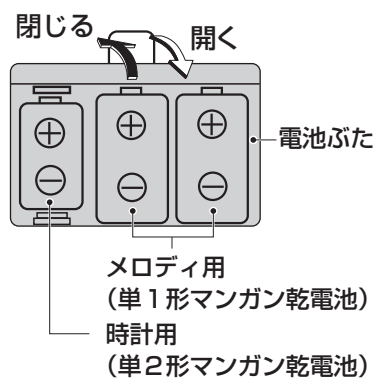
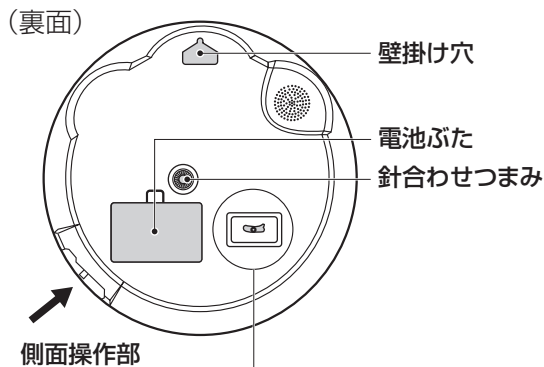
（正面）

〈秒針付き・振り子なしタイプ〉

※ステージ上の人形は、メロディとともに回転します。

（裏面）

振り子付の場合

閉じる　開く

電池ぶた

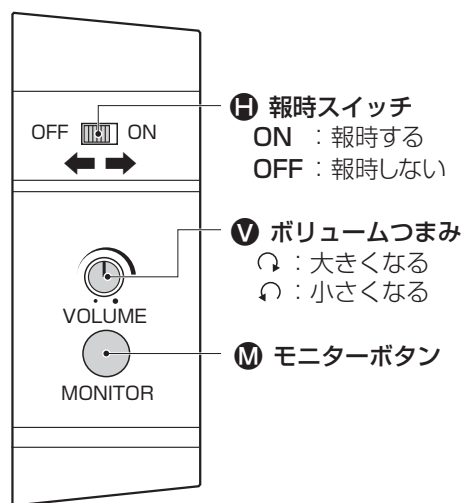
メロディ用
（単１形マンガン乾電池）
時計用
（単２形マンガン乾電池）

電池を入れる

①電池ぶたを取り外す。
②電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる。
③電池ぶたを取り付ける。

〈側面操作部〉

Ⓗ 報時スイッチ
ON ：報時する
OFF：報時しない

Ⓥ ボリュームつまみ
↻：大きくなる
↺：小さくなる

Ⓜ モニターボタン

明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合、報時を停止します。
※昼間や夜間の照明時でも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

⚠注意 電池の交換　早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
●時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
●古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
●電池の⊕⊖を逆に入れない。

時計の使いかた

❶ ボリュームつまみを左に回して音量を最小にする

操作をしているときに、大きな音が鳴らないようにします。

❷ 電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れる

電池の⊕⊖を逆に入れると、電池からの液もれ、発熱、破裂の原因となります。

❸ 針合わせつまみを回して時刻を合わせる

❹ 振り子押さえを取る（振り子付きタイプの場合）

振り子押えは輸送時の衝撃から部品を保護するものです。
使用するときは必ず取り外し、輸送の際は振り子押えを挿し込んでください。

❺ 報時機能を設定する

毎正時に1曲メロディを奏で、ステージ上の人形が回転します。
メロディは12曲収録されており、曲名は時計裏面に表示してあります。
メロディは時刻ごとに固定されていません。曲は毎正時に切り替わります。

Ⓗ 報時スイッチの設定

ON　：毎正時にメロディを1曲奏でます。
OFF：報時しません。
※報時スイッチをONに設定しても明暗センサーにより、暗くなると自動的に報時をしなくなります。 **明暗センサーのはたらき** 参照。

Ⓥ ボリュームつまみを回してメロディの音量を調節する

モニターボタンを押すとメロディが鳴りますので、その間にボリュームつまみを回して調節してください 。

Ⓜ モニター （メロディの試聴）

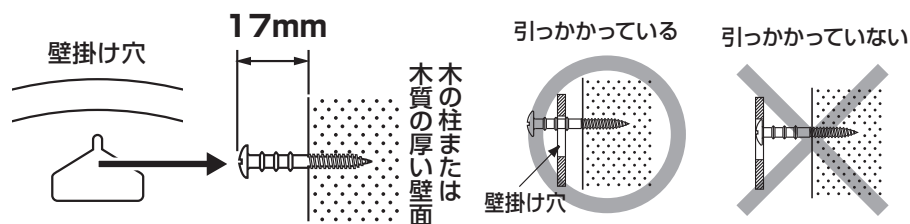
モニターボタンを押すと、メロディを1曲試聴することができます。メロディが鳴っているときにモニターボタンを押すと、曲目が切り替わります。
＊次に報時するときは、試聴したメロディより順番が1つ進みます。

❻ 時計を掛ける

⚠注意　掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、**壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。**

■振り子付きの時計は、垂直に掛けないと振り子が止まることがあります。

良い例

悪い例